

J R 東海労 サークル協情報

2014年 6 月 2 2 日

No. 1 3 4

発行 淵上 利和

編集 西村 隆行

俺たちは 鉄道を 諦めない！ JR東労組レールサークル「三陸福幸号」の旅に参加

J R 東労組レールサークル主催の「三陸福幸号」の旅が6月18～19日の日程で開催され、総勢220名が参加しました。J R 東海労は6名の組合員・家族が参加しました。また、大変お忙しい中、たしろかおる参議院議員が大宮駅まで乗車、挨拶の後、組合員との顔見せで7両の客車を回りました。なお、畠山第一秘書は、郡山駅まで乗車し組合員と交流しました。

24系寝台客車7両（E F 81機関車+電源車で9両）編成の団体列車「三陸福幸号」は、18日17時03分定刻に上野駅を発車、翌朝八戸に6時59分に到着、久慈駅までバスで移動し、三陸鉄道で宮古駅までローカル線の旅を満喫しました。宮古駅前で三陸鉄道社長を交えて全員で記念撮影後、盛岡駅までバスで行き解散です。J R 東海労6名は、J R 山田線で盛岡駅まで移動しました。

三陸地方は、まだまだ復興が進んでいません。特に、J R 線は開通の見通しが立っていません。鉄道は、ネットワークがあってこそ意味があるのです。吉川実行委員長は、「J R 線の開通のためにレール

サークルが力を発揮しよう」と訴えました。

